

悠久の時 久留米の旧石器時代

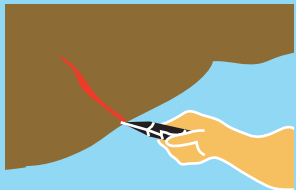
人類誕生から定住生活までの
450 万年間を旧石器時代という。

人類誕生（450 万年程前）から次の
新石器時代（1 万数千年前）までの間
の時代を、旧石器時代と呼ぶ。

旧石器時代には農業は行われておらず、
獲物となる動物を追いながら遊動生活
をしていた。

日本では、4 万年前以降の後期旧石器
時代から人類が住んでいたとされている。

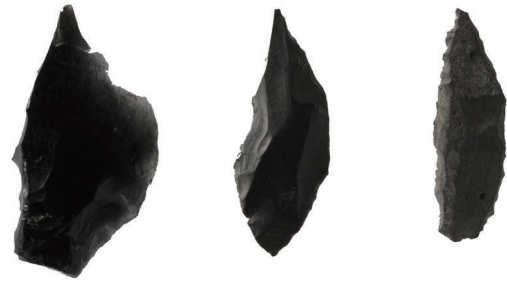
ナイフ形石器と角錐状石器の使い方



肉を切ったり、木を
けずるときに使う。
棒の先にとりつけて、
槍にすることもある。

後期旧石器時代は三つ の時期に分けられる。

古い段階は約 3 万年前の始良（あいら）火山
噴火以前、そして始良火山噴火後から約 1 万
4 千年前の細石刃石器群の出現までのナイフ
形石器を主体とする時代、さらに細石刃石器
群の出現以降の 3 時期に分けられる。久留米
ではナイフ形石器の時代から人々が住み始め
たことがわかっている。



▲ナイフ形石器（上津・藤光遺跡群出土）
写真右上方に刃が作り出されている。



▲角錐（かくすい）状石器（上津・藤光遺跡群出土）
肉厚で断面が三角形をしている。

久留米でも旧石器が 出土している。

久留米では旧石器時代の家などの生活の
跡は発見されていないが、遺物は、地面
に露出していたものが採集されたことや、
縄文時代以降の遺構に混入した状態で発
見されたことがある。

お問い合わせ

久留米市 市民文化部 文化財保護課
TEL:0942-30-9225 FAX:0942-30-9714
Email:bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp

History of Kurume



上津、野口、安武などで 旧石器が発見されている。

久留米で発見された旧石器で最も古いものは、2万9千年前の始良カルデラ噴火後のナイフ形石器で、上津町の上津シテ遺跡や車地（くるまじ）遺跡、山川町の野口遺跡などで発見されている。久留米で見つかった旧石器は佐賀県多久市や小城市などで採取できる安山岩や、伊万里市などで採取される黒曜石などが利用されており、耳納山地から派生した扇状地や河川沿いの低位段丘、沖積地などに分布している。



▲旧石器が出土した上津・藤光遺跡群の車地遺跡
奈良時代の遺構に旧石器が混入していた。



▲久留米市内の旧石器出土地（1/150,000）

お問い合わせ

久留米市 市民文化部 文化財保護課
TEL:0942-30-9225 FAX:0942-30-9714
Email:bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp